



KOTA.SENDENBU
▲幸田町公式 Instagram



▲幸田町公式LINE

発行 ●愛知県幸田町(毎月1日発行) 編集 ●企画部企画政策課
〒444-0192 額田郡幸田町大字藤北字元林1番地1 ☎(0564)62-1111 FAX(0564)63-5139
ホームページ ●https://www.town.kota.lg.jp/ メール ●kota@town.kota.lg.jp
町の花「ばき」 町の木「やまざくら」



こちら 博物館準備室

このコーナーでは、3月に策定した新博物館基本構想で取り上げた博物館の展示や教育普及に活かすべき『幸田町になくはない文化財』を紹介していきます。今回は幸田町が全国に誇る伝統芸能「三河万歳」を紹介します。

三河万歳は新年や新築祝いなど慶事に欠かせない風物詩で、道化を演じる才蔵とそれをたしなめる太夫の掛け合いは、現在の漫才の原点とも言われ庶民の楽しみの一つでした。その起源は、諸説ありますが鎌倉時代の京都で生まれ、西尾市西野町に伝わり、これを明治時代に岩堀の若者が習得したのが幸田の三河万歳の始まりとされています。

才蔵が鳴らす鼓の軽快な音色と、太夫の振る舞扇のゆったりとした仕草の掛け合いは絶妙で、演目「御殿万歳」に登場する七福神を真似る才蔵の仕草は、見る人を和やかな気持ちにさせてくれます。

昭和58(1983)年に、後継者育成活動の一環として中央小学校に三河万歳クラブを創設し、多くの児童や保護者、そして地域の人たちへ万歳の魅力を発信しています。このような児童への稽古指導と郷土の伝統文化の伝承が評価されて、平成7(1995)年に、西尾市・安城市の万歳と共に国の重要無形民俗文化財に指定されました。現在は幸田町三河万歳保存会が芸能を伝えています。

また、幸田町郷土資料館では、貴重な文化財である三河万歳関連資料を公開活用しています。

問合せ

文化スポーツ課文化グループ(中央公民館内)
☎(0564)62-1111(内線195) FAX(0564)63-1675
月曜休館(月曜が祝日の場合は翌平日が休館)

新博物館
基本構想に
ついてはこちら



中央小学校三河万歳クラブ



某月某日

わんぱくだより

菱池保育園

「春も満喫して…」

菱池保育園の園庭からはソメイヨシノの桜の木が見えます。寒い時期は園庭から見たり、散歩で歩いたりするたび「花や葉っぱがないから寒そうだね」はやく咲きますように！と子どもたちの声が聞こえてきました。

春になり、新しい色の帽子をかぶる子どもたちはウキウキわくわくした様子で散歩に出発しました。「お



花見をしたい」と子どもたちからリクエストがあり、中央公園を選びました。公園では、心地よい風に乗って花びらがフワフワと舞い、子どもたちは「桃色のシャワーみたい!」とくるくる回ったり、ぴよんぴよん跳んだりして大喜びです。水筒を持って丘の上まで行き、桜の木の下でお茶を飲む子もいました。

虫が好きな子は地面を掘り、「春になったよ、出ておいで」と声をかけながら、ダンゴ虫やテントウムシを探していました。

これから夏がやってきます。菱池保育園では、どろんこ遊びやプール遊び、夏野菜の収穫など夏ならではの遊びを楽しんでいこうと思います。